

社会福祉法人

出東福祉社会 だより

発行 令和2年4月
社会福祉法人 出東福祉社会
出雲市斐川町三分市1071番地4

2020年 春号 Vol.19



幼保連携型認定こども園

出東こども園



出東デイサービスセンター



グループホーム 出東ララ



地域から愛され、

信頼される「こども園」を



社会福祉法人 出東福祉社会

理事長 北脇 捷利

日頃は、出東福祉社会の事業に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

令和2年に替わり、平穏な日々が続くのかと思いきや世の中、上や下への大騒ぎ。

それはさておき、今年には東京五輪・パラが開催されるメモリアルイヤー。出東地区にとっても従来の保育園、幼稚園が一体となる「幼保連携型認定こども園」がこの4月からスタートしたメモリアルな年です。

昨今少子化の波は都市部地方にかかわらず押し寄せています。半世紀以上続いた出東幼稚園も園児数の減少が進み、集団での教育や生活指導などの分野における幼児教育が難しくなりました。そこで、関係者が検討した結果、幼稚園と保育園の機能を兼ね備えた「幼保連携型認定こども園」の設置が決まりました。

運営を委ねられたのは、43年にわたり出東保育園を営み、実績とノウハウのある当福祉社会。決しておこらず、ここで一旦リセットしたうえで、幼児教育の継続充実を望む地域の期待にお応えし、好適な環境の下でさまざまな体験や遊び、生活を通して生きる力の育成を保護者の皆さまと共に実現し、「地域から愛され、信頼される施設運営」に努めていく所存でございます。一層のお力添え、ご協力をお願い申し上げます。

幼保連携型認定こども園 出東こども園

出東こども園は、4月から3・4・5歳児72人、0・1・2歳児50人、計122人の子どもたちを迎えスタートしました。泣いたり、笑ったりにぎやかです。

「豊かな心と生きる力のある子どもを育む」

いろいろな体験を通して、感性や好奇心、探求心、思考力など『生きる力』の基礎が育まれるように環境を整えたり、かわりを大切にしていきます。

出東こども園の教育・保育方針は、

●元気でたくましい子ども

よく食べ、よく寝て、よく遊び、たくましい心と体、そして、自然に触れたり食事を通して五感もしっかり働かせる子どもを目指します。

●心豊かな子ども

思いを受け止めてもらい、人を信頼する心や、自分を大切にできる心、また、人とかかわり、やさしさや思いやりの心を育てます。

●よく考えて行動できる子ども

考える基となる、見る聞く力を育て、遊びの中で試したり工夫したりして、自分の考えを表現し、行動できる子どもを目指します。



出東地区は、教育福祉施設が隣接しておりとても良い環境です。

デイサービスセンターやグループホームのおじいさんおばあさんとも玉ねぎの苗植えや収穫、また、おもてなしをしたり、小学校とも交流活動を積極的に行い、温かい雰囲気の中、教育・保育を進めていきます。

「認定こども園」とは

0歳から就学前までの子どもたちが教育・保育を一体的に行う施設で、保育所と幼稚園の両方の良さを併せ持つ施設です。3・4・5歳児は、保護者の就労等の状況に関わらず、教育・保育を一緒に受けられ、保育料は昨年10月から無料となり給食費等のみの徴収となっています。小学校は出東だが、今は他園に在園していて、就学前に地元のこどもたちと1〜2年は過ごしたいな等お考えでしたら、ご相談ください。(電話62-3362)



出東デイサービスセンター

デイサービスセンターは、あたりに広がる田園や水鳥がやって来る万歳寺川に囲まれた、とてもどかな環境にあります。また、小学校、出東こども園に隣接し、学校のチャイムの音に時を感じたり、園庭で遊ぶ子どもたちの声に元気をもらったりと、目に見えない刺激を日常的に受けています。

そして、センター内では、厨房からの食事の香りが漂い、昼食の話題にと繋がります。センターで過ごす生活そのものが、五感を刺激します。

もっと感じてもらいたい、もっと人や物と関わってもらいたいと、職員でいろいろな活動の場をもつていきます。その一部を紹介します。



羽釜で炊飯

昔を思い出しての羽釜で米研ぎやご飯炊き、水加減や火のおこし方など皆様の知恵に感心しました。



すりゴマ

昼食に使うゴマを皆さんと協力して搗りまします。部屋中によい香りが漂いました。

グループホーム 出東ララ

一年前から朝夕読経

昨年1月に地元の喜見寺住職様からお釈迦様について講話を聴いたのち、利用者様の方から自然にお経を唱えるようになりまし。一年経った今でも朝夕の日常生活の一部になっていきます。お経を唱えることで、皆さんの揃った息づかいと発声にも力が入り、心身整った呼吸法となり、出東ララのホール中が静粛なひとときになっています。



斐川地区社会福祉法人

地域貢献連絡会発足から5年

平成26年より斐川地区社会福祉法人地域貢献連絡会を発足してから5年経ちました。

この連絡会は斐川地域の11の社会福祉法人が集まり、高齢者・障害者・保育の3つの分野から、住民の皆様からの声をいただき貢献出来るものを、との思いから各地域に出掛けています。2月17日には、出東コミュニティセンターにて、出東地区民生委員・児童委員・コミュニティセンタースタッフの方々を対象にお話しし、いろいろな意見や要望等をいただきました。少しでも地域に貢献出来るよう考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

職員募集

出東福祉会の高齢者施設と一緒に働きませんか。

詳しくは
デイサービスセンター
または、
グループホームに
お電話にてお問い合わせください。

デイサービスセンター
TEL 63-3777
グループホーム
TEL 25-8020

- 学校法人コア学園 出雲コアカレッジ
理事長 墨田浩志様
 - 内田 良治様(坂田)
 - 寄贈ありがとうございます
【絵本・図書カード・お花】
 - 出東地区更生保護女性会様
【図書カード】
 - JA女性部様
- 有効に活用させていただきます。

編集後記

○：今冬は、とび切りの暖冬。スキー場は雪不足に泣かされましたが、野菜の生長は早く、春咲きの花々は記録的な早さで開花。その一方で、世の中、新聞やテレビも連日、新型コロナウイルス関連のニュースが続きましたね。これにも早く終止符を打ってほしいもの。

さて、長らく地元の幼児教育を担う施設として親しまれた「出東保育園」がこの4月から新たに「出東こども園」としてスタートしました。あるCMによると、5年後には、認知症の高齢者の数が小学児童数を上回るといいます。それだけ子どもの数が減り続けている訳です。春号はこども園について、詳しく掲載しました。子どもは地域の宝であり、わが国の宝でもあります。新生「こども園」を温かく見守って頂くよう、お願い致します。

(裕)